

2023年度 第27回鉄道工学シンポジウム講演プログラム

第1日目：2023年7月24日（月）

	13:00	13:10	開会挨拶	亀田委員長
1	13:10	13:30	レール凹凸連続測定装置の偏心矢弦配置の寸法精度が凹凸測定精度に及ぼす影響の検討	斉藤大樹（鉄道総研）
2	13:30	13:50	複数項目の軌道変位データの同時分布に着目した木まくらぎ連続不良の検知手法	昆野修平（鉄道総研）
3	13:50	14:10	レール破断部通過時の軸箱振動加速度に含まれる低周波成分の特徴	相澤宏行（鉄道総研）
4	14:10	14:30	道床細粒化箇所に対する軌陸バックホウ加振機を活用した継目部沈下対策の検証	早川容平（JR西日本）
	14:30	14:50	休憩	
5	14:50	15:10	常時微動観測に基づく桁架設段階ごとの橋梁の振動特性変化に関する一考察	尾崎匠（鉄道総研）
6	15:10	15:30	鉄道橋りょう・高架橋群を対象とした下部工単体の固有振動数同定法の検証	和田一範（鉄道総研）
7	15:30	15:50	地震に伴う構造物の振動特性変化が地震リスクに及ぼす影響評価	久保大樹（鉄道総研）
8	15:50	16:10	列車通過時のコンクリート桁における時変固有振動数の同定法	井田直宏（大阪大学）
9	16:10	16:30	列車通過時における鉄道橋上電柱振動の非線形性分析手法	高瀬忠郁（大阪大学）
	16:30	16:50	休憩	
10	16:50	17:10	FEMによるき裂を有するレールへのガイド波伝播シミュレーション	小納谷優希（鉄道総研）
11	17:10	17:30	レール頭頂面に形成した落葉起因の黒色皮膜除去法の検討	幸野真治（鉄道総研）
12	17:30	17:45	ノーズ可動クロッシングの頭頂面傷の実態調査と管理手法について	青木宣頼（JR東日本）

第2日目：2023年7月25日（火）

13	9:00	9:15	都市鉄道の整備と沿線開発の動向に関する基礎的分析	金子雄一郎（日本大学）
14	9:15	9:35	首都圏空港における非集計モデルを用いた空港アクセス交通の手段選択特性分析	土方康裕（横浜国立大学）
15	9:35	9:55	異常気象による鉄道での通勤困難時における在宅勤務の可能性に関する検討 ー東京圏を対象としてー	佐谷一樹（日本大学）
	9:55	10:15	休憩	
16	10:15	10:35	反射シールを利用した桁たわみの夜間画像計測	保木本晟也（鉄道総研）
17	10:35	10:50	整備新幹線における連続桁橋のたわみ測定結果に関する考察	井上翔（鉄道・運輸機構）
18	10:50	11:10	地下鉄振動解析におけるモデル化の違いが応答解に及ぼす影響	佐藤和輝（新潟大学）
	11:10	11:30	休憩	
19	11:30	11:50	継目部材の長寿命化に関する検討	田中俊史（JR西日本）
20	11:50	12:10	通り変位と浮きまくらぎの影響を考慮したロングレールの座屈温度の簡易な推定手法	山岡大樹（鉄道総研）
21	12:10	12:30	分岐器における軌道変位が走行安全性および軌道部材の強度に及ぼす影響の基礎検討	塩田勝利（鉄道総研）
	12:30	13:30	休憩(昼食)	
22	13:30	13:45	函体と地盤の剛性比に着目した鉄道開削トンネルの設計事例分析	山門風音（中央大学）
23	13:45	14:05	旧式河川橋りょう橋脚の列車通過時における水平変位応答の実測と分析	横山大智（鉄道総研）
24	14:05	14:25	列車運転規制値の設定に資する全国確率実効雨量マップ	篠田昌弘（防衛大学校）
	14:25	14:45	休憩	
25	14:45	15:00	線形数学知見を用いた弦長変換フィルタの作成法	江原学（日本ブラッサー）
26	15:00	15:20	種々の不確実性を考慮した軌道座屈発生件数の期待値解析	阿部和久（新潟大学）
27	15:20	15:35	タンピング装置を用いた道床バラストの状態把握	三輪昌弘（JR東海）
	15:35	15:55	休憩	
	15:55	16:00	講演者紹介	古川副委員長
	16:00	17:00	特別講演：ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道プロジェクトにおける詳細設計調査業務の取組みと現状 美谷 邦章 氏（日本コンサルタンツ株式会社インド鉄道推進本部 取締役副本部長）	
	17:00	17:20	表彰式	亀田委員長
	17:20	17:30	閉会挨拶	古川副委員長